研究機関名：東北大学

受付番号：　2012-1-357
研究課題名「自己免疫性膵炎の国際コンセンサス診断基準の妥当性に関する評価」の追加調査
研究期間　西暦　2012年10月（倫理委員会承認後）～2017年10月
対象材料 □病理材料（対象臓器名　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料　□遊離細胞　■その他（人体から採取された試料等を用いない観察研究） 上記材料の採取期間　西暦2000年4月～2012年9月
意義、目的 自己免疫性膵炎（AIP）はいまだに原因不明の疾患である。診断基準が乱立していたが、2011年国際コンセンサス診断基準(ICDC)が制定された。本研究の目的は、今後AIP診療の中心となるICDCの妥当性の有無について、今までの診断基準と比較し、その診断能を検討することと、稀とされるtype2 AIPやAIP疑診例(AIP-NOS)に分類される症例を集積し、その臨床像を明らかにすることである。
方法 厚生労働省特定疾患対策研究事業難治性膵疾患に関する調査研究班に参加している9施設から501症例を集積し、各診断基準で診断し、比較することと、AIP非典型例とされるDefinitive type2　Probable type2　AIP-NOS　not diagnosedに分類された計54例を対象にその臨床像を解明するため、追加調査を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学消化器内科 022-717-7171　FAX 022-+717-7177